

学校評価(6月) 裏面より

今年度は、裏面では、ご家庭での工夫について書いていただきました。じっくりと考えて書いていただいたようで、たくさんの感想や意見をいただくことができました。すべてを紹介することはできませんが、そのうちのいくつかを紹介させていただきます。ここに紹介しているものは、「うまくいってます」というものもあれば、取り組んではいるものの「なかなかうまくいかないですね」というものもあります。家庭によって考え方の違いもあります。環境によっても違いますし、もちろん、子どもによっても違っている

子どもの学力を伸ばす工夫

- ・学習そのものが大切で役に立ち、必要なことであるということを言ってきかす。
- ・「学習は特別なことではなく、生活の一部である」と子どもが感じるようにしている。
- ・がんばったことは褒める。
- ・毎日、同じ時間には机に向かうよう言っ、時間を決めて学習するよう心掛けている。
- ・一週間の予定表を曜日ごとに作っている。自分のやるべきことがらが自分の中で整理されたようで、今は、その予定表に沿って、自ら学習を進めている。
- ・小さな目標を設定し、できたらシールを貼るなどががんばった成果が目に見えるようにする。
- ・いっしょに学ぶ。
- ・子どもの質問には真剣に答える。
- ・お風呂にひらがな表や九九の表、漢字などを貼る。
- ・旅行に行く時など、地図を見せて旅先を自分で探すなど、地理に興味が出るようにしている。
- ・分からない課題でも、まず、自分で考え取り組みをした上で、親が助言するようにしている。
- ・うるさく「勉強しなさい」とは、言わなくなった、自分から進んで勉強するようになった。
- ・興味のあることには、学ぶ機会を作っている。
- ・自分で勉強する自主性を見に付けてほしいと思い、強制はせずに子どもと一緒に本屋へ行き、自分でドリルを購入し、自主的に取り組むよう見守っている。
- ・自分で「する」と言いだしたことを継続していけるようにサポートする。
- ・疑問をもったことは、必ずその場で調べたりして、納得いくまでさせている。
- ・知識があることで楽しいと思える体験をさせ、学ぶことは楽しいと思える日常作りをしている。
- ・楽しんで勉強できるように強制せず見守り、できるだけほめながら学習する環境作りに努めている。
- ・「話し言葉は聞き言葉」話すこと聞くことから考える力が養われると思う。子どもが、「話したくなる環境」を作ることを大事にしている。
- ・宿題やテストなど、「すごいね」「がんばってるね」と抽象的な言葉で褒めるのではなく、「 のところが丁寧に書けたね」「 のところが母さんは好きだなあ」と具体的に分かりやすく伝えるように意識している。
- ・パワーアップ学習での内容は、子どもの好きなことを聞いて、ヒントを伝えたり遊びに行った中で興味が出たことを題材にしてみたり楽しく学べるようにしている。



子どもの豊かな心を育てる工夫

- ・できるだけ子どもと話をする時間を大切にする。
- ・家族でいっしょになるべく過ごす。
- ・安易な言葉で終わらせず、しっかり言葉で表現させていき、よく話を聞く。
- ・一人っ子なので、時間がある時は、子どもさんがたくさん集まる場所へ連れて行くようにしている。
- ・様々な事件や事故のニュースをいっしょに見た時に、何故こうなったかを話している。
- ・いっしょに出かけた時に困っている人がいれば、手助けする姿を見せる。
- ・家庭での役割の大切さを実感させている。やりたいお手伝いはできる範囲でしてもらう。
- ・スポーツを通じて、いろいろな体験をさせている。
- ・体験学習に行く。
- ・図書館に足を運ぶようにしている。多くの本を読む。親子で本を読む。
- ・性別・年齢を問わず、たくさんの人と出会ったり遊んだりする地域やPTAのイベント等に積極的に参加する。
- ・友だちの悪いところを見るのではなく、相手の長所を見つけられるように幼児の時から意識してきた。
- ・友だちの悪口を言ってはいけない。どうしても言いたいことがあったら、家でわたしにこっそり言いなさい」と言っている。
- ・例えて、自分が「 されたらどんな気持ちになる？」と問いかけ、その立場になって考えさせるようにしている。
- ・子どもが話し出したらどんな意見でもまずは否定せず、なるほどと「聞く」ことにしている。
- ・子どもが自分たちでどうしたらよいか考えさせ、大人が口出ししすぎない。見守ることも大事だと思うので注意すぎないようにしている。
- ・友だちとトラブルがあれば今後はどうすればよいか、また、友だちに優しくされたことを大切に自分も優しくできればいいね」と話し合いを大切にしている。何事にもルールがあり、なぜそのルールが大切なのかを日々考えている。
- ・自分がしてもらって嬉しかったことを人にたくさんしてあげるよう働きかけている。
- ・ダメなことはダメ！と言うだけでなく、何故ダメなのか納得するまできちんと説明する。
- ・自分より小さい子に困っている人にはは優しく接する。
- ・命の大切さについてゆっくり話している。
- ・子どもに愛情を伝えて優しい心をもてる様にしている。



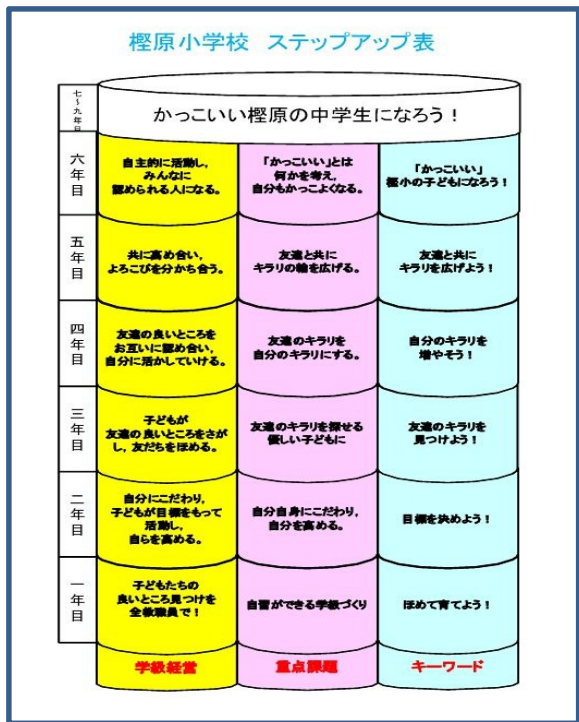
- ・自分一人では生きていけないと話している。
- ・ごみのポイ捨てをしないように、お菓子などを持って出たら必ず持って帰ってくるようにしている。
- ・あいさつを親が率先してしっかりする。
- ・他の人の悪口を大人が言わないようにしている。
- ・親が感動したことを子どもにも伝えるようにしている。
- ・自分の失敗談を話すこともある。
- ・大人が差別的なことを口にしたり悪口を言ったりするこ

子どもの健やかな体を育てる工夫

- ・規則正しい生活を心掛けている。
- ・早寝早起き、朝食の習慣作り。
- ・おかしより三度の食事を大切にしている。
- ・子どもの体調を見ながら食事の内容を決める。
- ・なるべく手づくりごはん、野菜多め。
- ・好き嫌いをしない。
- ・食べ物の好き嫌いが多いため、その食品の役割や、給食と合わせて、バランスの良い食事になるよう、きらいな食べ物は細かくして他の物に混ぜて食べ
- ・いっしょに料理をする。
- ・休みの日は公園などでいっしょに遊ぶ。
- ・外で遊ぶ時間をしっかり作る。
- ・休日でも規則正しい生活リズムを心掛ける。
- ・交通ルールを確認しながら歩く。
- ・自転車に乗る時は、ヘルメットをかぶるようにさせ
- ・なるべく自動車を使わないで、歩いて目的の場所へ車、自転車の怖さを何度も言い聞かせている。
- ・親の都合で生活サイクルをくるわせないようにしている。
- ・あいさつや早寝早起き、朝食の意義について話している。

その他

- ・親だけではなく、近所の大人と接して多くのことを学んでくれればと思う。親の言うことを素直に聞き入れない年令となり、そういう時はご近所さんに助けていただいて助かって
- ・あいさつができること、ありがとう・ごめんなさいが言えるように。周りの全てに対して感謝の気持ちを忘れないことを重視している。
- ・友だちとのやりとりの中で、家では学べない友だちとのやりとりなど横のつながりを大事してもらいたいと思っている。
- ・友だち・仲間と協力し、何かを作り上げたり、成し遂げたり、皆で一つの目標に向かってがんばるということを経験させてほしい。
- ・学校ではいろんな人がいて、いろんな思いがあって、いろんな行動があって、みんながちがうことを思ったりしたりするのをたくさん経験して、その中で自分の中のぶれない部分、大切にしたい部分を考えて行動できるように少しずつなって、たくさんのことを感じて学んでくれたらと思う。
- ・大人に注意やしかられた時、自分が悪かったことをまず謝るのではなく、言い訳や罪を軽くするような話の内容にしたり、相手もやっていると他の子のことばかり言う子が増えていると感じる。まずは、自分の悪かったことを素直に謝れるような指導を学校でもしてほしい。
- ・松陽小・榎原中との連携を深め、地域で一貫した教育体制をとっていただければ、安心して地域の中学に進学させることができると思う。
- ・人に優しくできたり、人によって態度が変わったりしないように強い心をもってほしいと思う。
- ・子どもの教育に関しては、学校にお任せするばかりでなく、やはり、家庭において子どもとの関わり、親の行動、家族関係、家庭環境などが非常に重要であると思うので、親が学校の教育方針を理解し、それを家庭でも実践できるように心掛けていきたいと考えている。
- ・大人になった時に、生き抜いていく力、自立できることを目標に日々考えて教育している。
- ・自主学習が果たして子どもの学力向上につながっているのか疑問である。漢字プリントや計算プリントを増やし、基礎学力を定着させてほしい。
- ・子どもを取り巻く環境は、自分が子どもの頃より複雑だったり危険だったりするので、常にアンテナをはりめぐらせ、手は離しても目は離さずでいなければと考えている。
- ・親が未だにまだつい何でも口を出してうつさく言ってしまうので、そこをがまんして、子ども本人がしっかりと考え



榎原小学校では、上の図のように、6年をかけて、子どもを育てていこうとしています。そこで、学年に応じた指導をしています。学力においても、6年間で学習する時間、内容、意欲等を高め、中学校へつなげたいと考えています。保護者や地域の方々の思いや考えも参考にさせていた